

音楽科年間指導計画・評価規準【第8学年】

学校番号【14】 東京都板橋区立上板橋第二中学校

月	単元名	時数	学習内容	各単元の観点別評価規準			評価方法・資料等
				① 知識・技能	③ 思考・判断・表現	④ 主体的に学習に取り組む態度	
4	オリエンテーション 合唱への導入	4	曲にふさわしい発声で歌おう	パートの音域に応じた声の音色や響きと発声との関わりについて理解している。 音域や強弱に応じた発声や歌う姿勢などを身に付けている。	歌唱表現に関わる知識(パートの音域に応じた声の音色や響きと発声との関わり)や技能(音域や強弱に応じた発声や歌う姿勢など)を得たり生かしたりしながら、曲にふさわしい歌唱表現を創意工夫している。	歌唱表現に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら、曲にふさわしい歌唱表現を創意工夫する学習に主体的・協働的に取り組んでいる。	・授業中の活動の観察
5	アルトリコーダー 基礎練習 「ラヴァースコンチェルト」	3	サミングや息のコントロールを身に付けて表現を工夫しよう	曲想と音楽の構造との関わりを理解している。 創意工夫を生かした表現で演奏するための息のコントロールやサミングなどの技能を身に付けている。	器楽表現に関わる知識(曲想と音楽の構造との関わり)や技能(息のコントロールやサミングなど)を得たり生かしたりしながら、器楽表現を創意工夫している。	器楽表現に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら、器楽表現を創意工夫する学習に主体的・協働的に取り組んでいる。	・ワークシート、ノート、レポート ・自己評価カード
6	リズム創作	3	リズムパターンをつくらう	リズムの反復や組み合わせによるリズムパターンの特徴を理解している。 条件に沿って8分音符をつなげる技能を身に付けている。	創作表現に関わる知識(リズムの反復や変化などによるリズムパターンの特徴)や技能(条件に沿って8分音符をつなげたり組み合わせたりする技能)を得たり生かしたりしながら、まとまりのある創作表現を創意工夫している。	創作表現に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら、まとまりのある創作表現を創意工夫する学習に主体的・協働的に取り組んでいる。	・定期調査 ・実技テスト
7	鑑賞「ボレロ」「惑星」	4	曲の構成のよさや面白さを味わいながら鑑賞しよう	曲想とリズムや旋律の反復による音楽の構造との関わりについて理解している。	鑑賞に関わる知識(曲想とリズムや旋律の反復による音楽の構造との関わり)を得たり生かしたりしながら、音楽表現の共通性や固有性について考え、音楽のよさや美しさを味わって聴いている。	鑑賞に関わる知識を得たり生かしたりしながら、音楽表現の共通性や固有性について考え、音楽のよさや美しさを味わって聴く学習に主体的・協働的に取り組んでいる。	
9	日本の歌「浜辺の歌」 「早春賦」	4	曲の形式を生かして歌おう	曲想と形式や歌詞との関わりについて理解している。 音域や強弱に応じた発声、子音や母音の発音などを身に付けている。	歌唱表現に関わる知識(曲想と形式や歌詞との関わり)や技能(音域や強弱に応じた発声、子音や母音の発音など)を得たり生かしたりしながら、曲にふさわしい歌唱表現を創意工夫している。	歌唱表現に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら、曲にふさわしい歌唱表現を創意工夫する学習に主体的・協働的に取り組んでいる。	・授業中の活動の観察
10	合唱コンクールに向けて 平調子を活用した音楽作り	2	平調子の特徴を生かして音楽をつくらう	平調子の構成音による特徴、リズムパターンの反復や組み合わせの特徴を理解している。 課題に沿った音やリズムパターンを選択する技能を身に付けている。	創作表現に関わる知識(平調子の構成音による特徴、リズムパターンの反復や組み合わせの特徴)や技能(課題に沿った音やリズムパターンを選択する技能)を得たり生かしたりしながら、まとまりのある創作表現を創意工夫している。	創作表現に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら、まとまりのある創作表現を創意工夫する学習に主体的・協働的に取り組んでいる。	・ワークシート、ノート、レポート ・自己評価カード ・定期調査 ・実技テスト
11	「交響曲5番」ハ短調 「小フーガ」短調	4	オーケストラやパイプオルガンによる表現を鑑賞しよう	曲想と動機の現れ方、ソナタ形式やフーガの構造との関わりについて理解している。	鑑賞に関わる知識(曲想と動機の現れ方、ソナタ形式やフーガの構造との関わり)を得たり生かしたりしながら、音楽表現の共通性や固有性について考え、音楽のよさや美しさを味わって聴いている。	鑑賞に関わる知識を得たり生かしたりしながら、音楽表現の共通性や固有性について考え、音楽のよさや美しさを味わって聴く学習に主体的・協働的に取り組んでいる。	
12	合唱への取り組み 荒城の月	2	曲にふさわしい発声で歌おう	パートの音域に応じた声の音色や響きと発声との関わりについて理解している。 音域や強弱に応じた発声や歌う姿勢などを身に付けている。	歌唱表現に関わる知識(パートの音域に応じた声の音色や響きと発声との関わり)や技能(音域や強弱に応じた発声や歌う姿勢など)を得たり生かしたりしながら、曲にふさわしい歌唱表現を創意工夫している。	歌唱表現に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら、曲にふさわしい歌唱表現を創意工夫する学習に主体的・協働的に取り組んでいる。	
		2	箏の基本的な奏法を身に付けて表現を工夫しよう	曲想と音楽の構造との関わりを理解している。 創意工夫を生かした表現で演奏するための右手の使い方や押し手などの技能を身に付けている。	器楽表現に関わる知識(曲想と音楽の構造との関わり)や技能(右手の使い方や押し手など)を得たり生かしたりしながら、器楽表現を創意工夫している。	器楽表現に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら、器楽表現を創意工夫する学習に主体的・協働的に取り組んでいる。	
1	雅楽「越天楽」 舞楽「左舞・右舞」	2	雅楽の多様な表現を鑑賞しよう	雅楽の音楽的な特徴とその背景となる文化や歴史と関わりについて理解している。	鑑賞に関わる知識(雅楽の音楽的な特徴とその背景となる文化や歴史と関わり)を得たり生かしたりしながら、生活や社会における音楽の意味や役割について考え、音楽のよさや美しさを味わって聴いている。	鑑賞に関わる知識を得たり生かしたりしながら、生活や社会における音楽の意味や役割について考え、音楽のよさや美しさを味わって聴く学習に主体的・協働的に取り組んでいる。	・授業中の活動の観察 ・ワークシート、ノート、レポート ・自己評価カード
2	合唱への取り組み	3	曲想を味わいながら合わせて歌おう	曲想と楽曲の構造との関わりについて理解している。 他の声部を聴きながら他者と合わせて歌う技能を身に付けている。	歌唱表現に関わる知識(曲想と楽曲の構造との関わり)や技能(他の声部を聴きながら他者と合わせて歌う)を得たり生かしたりしながら、曲にふさわしい歌唱表現を創意工夫している。	歌唱表現に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら、曲にふさわしい歌唱表現を創意工夫する学習に主体的・協働的に取り組んでいる。	・定期調査 ・実技テスト
3	郷土の音楽や芸能 「鹿踊」「獅子舞」 卒業式(卒業式歌)	2	郷土のさまざまな芸能を味わいながら鑑賞しよう	郷土の音楽や芸能における表現の特徴とその多様性について理解している。	鑑賞に関わる知識(郷土の音楽や芸能における表現の特徴とその多様性)を得たり生かしたりしながら、音楽表現の共通性や固有性について考え、音楽のよさや美しさを味わって聴いている。	鑑賞に関わる知識を得たり生かしたりしながら、生活や社会における音楽の意味や役割について考え、音楽のよさや美しさを味わって聴く学習に主体的・協働的に取り組んでいる。	
配当時数合計		35					